学ぶたび、己の愚かさを再認識
～だから勉強する、頑張ってます！～

GCR@SEAN認定講座第一期修了生　竹之内　早苗

山崎直子さんがスペースシャトルで、飛び発った。「ママ飛行士宇宙に」4月6日朝刊の見出し。あっ、ジェンダーや。

マスコミがこぞって主夫を取りあげる。「決して望んだ選択ではありません」彼にも夢があった。出発に際し夫の大地さんは、「たくさんの喜びや苦難があったが、この時が迎えられ、とても嬉しく誇りに思う」と。離婚の危機があり、妻に死にたいともらしたとも聞く。相当深い話し合いがもたれたと推測する。強い信頼関係で、結ばれていると感じた。無事に帰還される事を祈りたい。(4/13記)

同じ紙面に、同居の19歳の少年、2歳の男児、暴行を受け死亡。育児を押し付けられ、殴ると愛想笑いをするようになったと。だから、虐待？許されない。悲しい事件があとを絶たない。救える方法があったのに。やりきれない。

昨年、松原市の保育ボランティア養成講座の中で遠矢さんの講座を受け、感動した。今まで、男女共同参画・ジェンダーというと、女性の被害が多く取り上げられる中、彼女は違った。子育ての中で、男の子は、強くなければとか、泣いてはいけないと言っていなかったかと。自殺者が、年間三万人を超え、中高年の男性が多いこと。最近30代の男性が増えつつあること。少年院では、9割が男の子だそうだ。彼等には、自分の感情をコントロールする力が乏しい。子育ての中で、すり込まれたことが影響してやしまいかと問われた。

「男の子だって泣いていいんですよ」とやさしく投げかけられた。膝を打つ思い。私は、親学習を伝えていく中で、いま「性」を正しく伝えなければと、感じている。悲しいかな私には全く知識がない。学習をしたことが無い。おそるおそる、講座の後で遠矢さんに伝えてみた。同じ思いをもたれていて、中学生のアンケート報告書、早速購入。嬉しかった。打てば響くような対応に、もう少し関わりたいと思った。縁あって昨年は遠矢さんの講座を数回受講。今回も私のアンテナがキャッチ。

第一日目、寝不足のまま。膝からバインダーが落ちる。他の方にご迷惑をかけたこと、紙面を借りてお詫びいたします。

いろいろな分野から参加されていて、わずかな休憩時間、昼食時間の話題が豊富。とても楽しかった。そこで、私は今まで自分で気付かずにいた思いを他の受講生に出してみた。的確なアドバイスを頂く。それは母と私。私と娘との関わり。子育ての中で知らず知らずの内に起こる力関係、自分の中にあるジェンダーに気付く。娘に詫び状を書かねばと思う。

学ぶ度に己の愚かさを再認識する。「だから、勉強するの」と言い訳しつつ。

今回も大切なことをたくさん学んだ。ひとは、突然変異で生まれたもの。それを男と女だけに区別してきた長い歴史。性の学習はまだ、もや～としてる。が、新しい発見。目からうろこ。分かり切った事がそうではなく、自身のジェンダーにも気付かされる。原点にかえって活動しなければと思う。二日間気持ちの良い時間を持てた事、思いを共有できる仲間が居た事。

暖かいスタッフの皆さんの気配り、ありがとうございました。暖かく背中をおしていただいた気がします。頑張れます。

4月6日満開の桜の下、親子の居場所。なんと、私の腕の中で眠ってくれた～うれしい～　早苗ちゃん頑張っています。

GCR@SEAN認定講座　集合写真